

公益財団法人 広沢技術振興財団

《研究課題名・講演会名等・調査課題名》

視覚障害者移動支援システムの開発・導入状況調査
—統一性のあるシステム開発を進めるために—

《申請者》

フリガナ：ツクバダイガクイガクイリョウケイ
所属機関・団体：筑波大学医学医療系
職位・氏名：教授・徳田克己

《研究・講演会等・調査の概要》

視覚障害者の移動を支援する機器は、様々な技術を背景に数多く開発され、製品化されてきた。かつては中央省庁の系列に従って、旧郵政省関係の企業では電波を使用した誘導支援機器、旧建設省関係の企業では道路埋め込み式の機器などのように互換性のない機器が多額の予算を使って開発・設置されてきた。しかし、ユーザーである視覚障害者からすると、限られたエリアでしか使えないデバイスを何種類も持ち歩かなくてはならない事態になり、結局は最先端の技術を活用した移動支援機器が開発・設置されても、視覚障害者が活用できない状況が作り出されてきた。

現在、どのような技術が応用されて視覚障害者誘導機器・システムが開発されているのか、それぞれの機器の互換性がどのように確保され、また有効性がどのように評価されているのか、どの地域に設置されているのかについて、開発企業を対象にしたヒアリング調査を行い、その結果をもとにして互換性や有効性に関する提案を行いたい。